

新型コロナウイルス感染症に関する偏見や差別を防止するために

令和3年2月3日、新型インフルエンザ等対策特別措置法の一部が改正され、新型コロナウイルス感染者やその家族、医療従事者等の人権が尊重され、偏見や差別を防止するための規定が設けられました。

各地域の学校では、児童生徒が中心となって地域と連携し、偏見や差別の防止に向けた取組が行われていますので紹介します。



山鹿市立鹿北小学校

＜叶うリボン運動＞

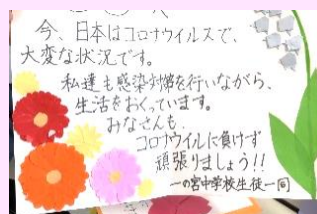
自分や他の人たちの大切な命や人権を守るため、「叶うリボン運動」に取り組んでいます。叶うリボンは、結び目の表(口)と裏(十)で「叶」を表しています。鹿北町から発信し、多くの方へ届けられるよう、PTAとも連携して配付してきました。差別や偏見の防止そして感染拡大防止のために頑張っている方々への感謝とエールを送ります。



阿蘇市立一の宮中学校

＜地域に折り紙の花をプレゼントしよう＞

新型コロナウイルスの影響で、人との交流が減る現状の中、地域に元気を届けるために全校生徒で折り紙の花を作り、メッセージを添えて地域の特別養護老人ホームやデイセンターに届けました。



荒尾市立荒尾第三中学校

＜感謝の気持ちを伝える“鶴文字”作成＞

最前線で新型コロナウイルスと闘っておられる医療従事者の皆様に対し、全校生徒で折り鶴を折って「感謝」の文字を作成し、荒尾市内の病院に届けました。



県立上天草高等学校

＜感染対策ステッカー作成＞

新型コロナウイルス感染症に負けない安心・安全な上天草市を願い、上天草市役所と協力して、キャラクター「あマスク四郎」の感染対策ステッカーを制作しました。ステッカーは市内の施設や店舗で掲示されています。



熊本県教育委員会 地域人権教育指導員研修会 (R3.2.26)

「新型コロナウイルスに罹患して」 前田 強 (つよし) さん (飲食店経営)



＜学校へ伝えたいこと＞：店名公表後に、息子が通う中学校からは、「学校を上げて差別や偏見から息子を守る」と言っていただき安心しました。日頃の教育が何より大事だと私は考えています。

＜子供たちへ伝えたいこと＞：もしも自分や家族が、友達が感染したらどうするかというのを常に考えて、思いやりを持って人に接してほしいです。悪いのは感染した人ではなく、ウイルスです。これを絶対に忘れず行動してほしいと思います。

この記事に関する問い合わせ先：人権同和教育課 096(333)2702